

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

***本田乾板(Nova Cep 1971)3枚、桑野フィルム2枚など收藏**

国立天文台天文情報センター・アーカイブ室では国立天文台の旧図書館(昭和5年(1930年)建設)の1階に保管されている古い天体写真乾板等の整理を進めている。この作業の一環の中から昭和20年2月の本館焼失で失われたと思われていた100年以上前に撮影された写真乾板が発見され、日本人最初の小惑星発見の写真乾板が出てくるという大きな発見もあった。天体写真乾板の整理は佐々木君、大島君が進めており、筆者はこの物置状態の棚から確たる資料とも思えない雑物の整理を引き受けている。今回は**本田乾板(Nova Cep 1971)3枚、桑野フィルム2枚など書かれた印画紙の箱**(写真1)を收藏した。この箱の中には本田実氏撮影と思われる乾板3枚と桑野善之氏撮影のフィルム2枚、これのプリント9枚、桑野氏の手紙(写真2)が入っていた。

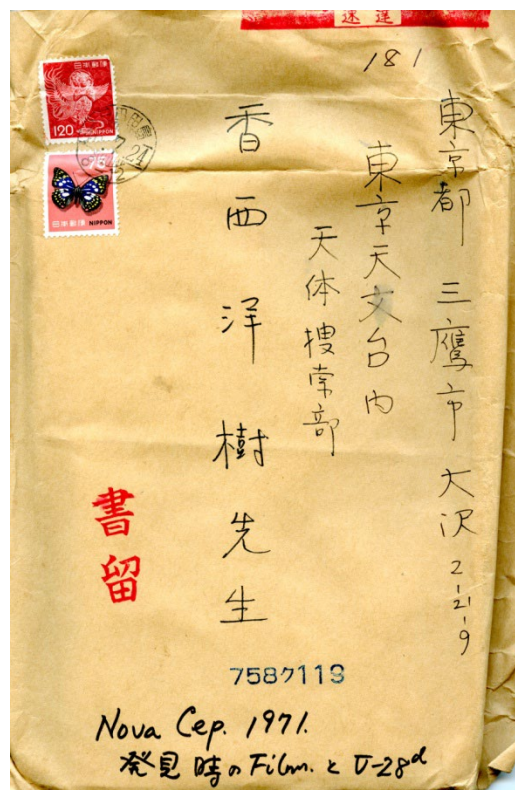
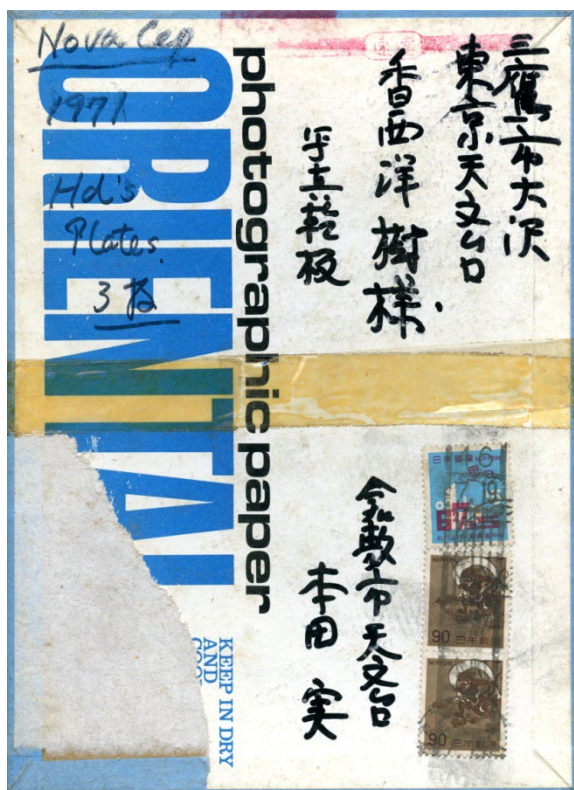


写真1 乾板などが入っていた印画紙の箱 写真2 桑野氏がフィルムなどを送った封筒

この作業を始めて、保管されていた一つの乾板の箱に本田実氏と桑野氏のものの複数の人のものが入っていたのは初めてである。今回、入っていた乾板は3枚で、これは乾板の袋に書かれた筆跡から本田実氏が撮影したものと思われる。乾板の袋、乾板に書かれたメモは表1のようである。

Nova Cer 1971							
	番号	α	δ	撮影年月日	露出開始	露出終了	露出時間
16	⑤			19710628	2248	2258	10m
16				19710704	2515	2522	7m
16				19710711	2225	2230	5m

表 1

桑野氏から手紙には、写真ネガ 2 枚、そのデータ(写真 2)、香西氏宛の手紙が入っていた。ネガ②が新星発見時のものであり、ネガ①が増光前の写真である。

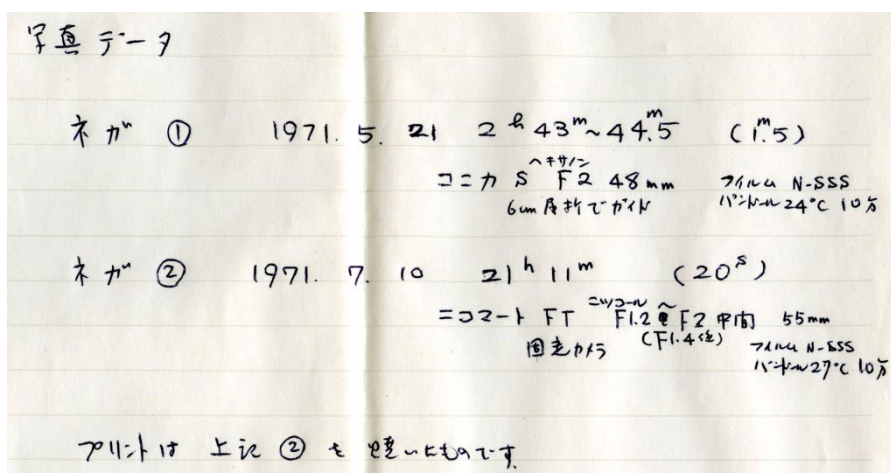


写真 2 桑野氏の写真のデータ

桑野氏のメモの 1971 年 7 月 10 日のプリントの新星部分の拡大が写真 3 である。



写真 3 →が発見された新星

写真 3 は焼き付けを業者に依頼して黒くなり過ぎたと手紙に書いてあった。送ってこられたオリジナルのその部分の拡大が写真 4 である。フィルム上に印が入っているが→が新星である。1971 年 5 月 21 日の同じ星野の拡大写真が写真 5 である。

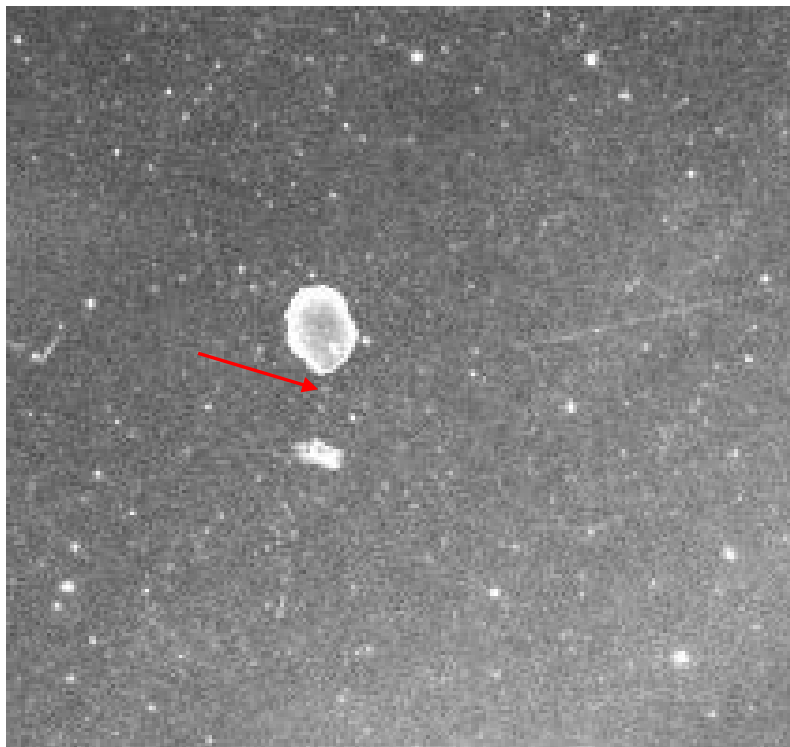


写真 4 オリジナルの拡大写真

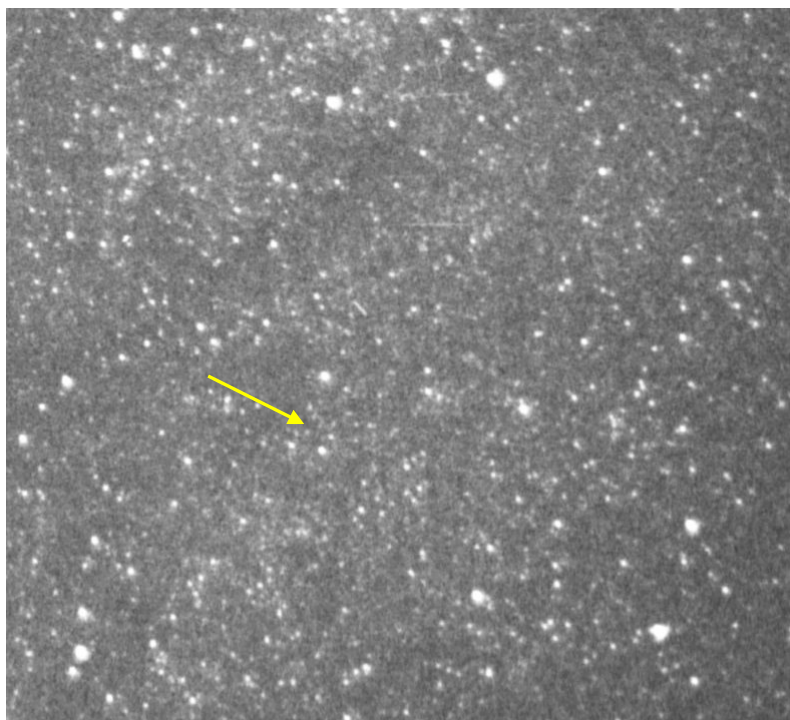


写真 5 写真 4 の場所の 2 か月前(5 月 21 日)の写真

この桑野氏が発見された翌日、7月11日に本田実氏が撮影したその場所の拡大が写真6、本田氏が6月28日に撮影したものが写真7である。



写真6 7月11日に本田実氏が撮影した写真



写真7 6月28日に本田実氏が撮影した写真

写真 7 に新星が写っているかどうか、判断しかねるのでこの部分をさらに拡大して見ると、7月11日の写真は写真8、6月28日の写真は写真9のようになる。

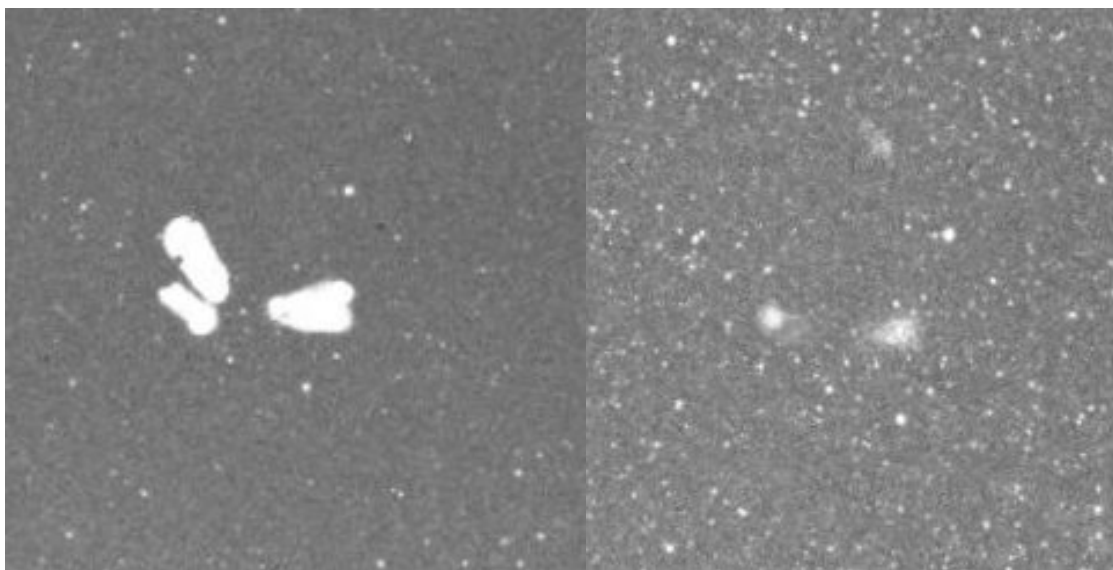


写真8 7月11日の拡大写真

写真9 6月28日の拡大写真

写真8、写真9を比べてみると確かに写真8に移っている位置の星が、さらに暗い星まで写っている写真9のどの星像にも一致しないように見える。何とも難しい判定が必要な作業であったことが伺われる。当時はこのようにデジタイズした画像で深くしたわけではないのでさらに困難であったことが想像される。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp